

佐賀女子短期大学

実地視察大学の概要

○課程認定を受けている学科等の概要

大学名	佐賀女子短期大学		設置者名	学校法人旭学園				
学部・学科等の名称等			認定を受けている免許状の種類・認定年度		免許状取得状況・就職状況 (平成21年度)			
	学科等	入学定員	免許状の種類	認定年度	卒業者数	免許状取得者数		教員 就職者数
						実数	個別	
	健康福祉学科 食物栄養専攻	40人	栄教二種免	平成17年度	33人	5人	5人	0人
	こども学科	145人	幼二種免	平成20年度	120人	111人	111人	22人
			小二種免	平成20年度			34人	
キャリアデザイン 学科	100人	中二種免(国語)	平成20年度	61人	16人	3人	1人	
		養教二種免	平成20年度			13人		
入学定員合計		285人	合計		214人	132人	166人	23人
備考	・「学部・学科等の名称等」欄は、平成22年4月1日現在の名称・定員である。 ・「免許状取得者数」欄の「実数」欄には各学科等の実人数を、「個別」欄には各学科等内の教職課程ごとの人数である。							

実地視察大学に対する講評

実地視察日：平成22年7月16日（金）

実地視察大学：佐賀女子短期大学

実地視察委員：大坪治彦委員、渡辺三枝子委員、野村新委員

■ 大学の教員養成に対する全般的な状況

<状況>

- ・3学科で教員養成を行っている。

<講評>

- ・教員養成に関する教育課程、教員組織等については、概ね基準は満たしているが、いくつか改善が求められる点がある。

■ 教員養成に対する理念、設置の趣旨等の状況

<状況>

- ・「順和、礼譲、敬愛、奉仕」の精神涵養を学園訓とし、この精神に基づき基礎的教養と専門的知識・技能を併せ持つ教育者の育成を目指している。

<講評>

- ・教員養成に対する理念・構想が示されているが、全ての教員がその理念を共有し、明確化・具体化するために、教員像について全学で議論し、実践、講義に生かしてほしい。

■ 教育課程（教職に関する科目等）、履修方法及びシラバスの状況

<講評>

- ・授業科目「教育の方法・技術」が、情報機器の操作のみを扱う内容となっているため、改善すること。
- ・授業科目「教育相談」については、カウンセリングの専門家を育成するための科目ではないため、保護者との対応等も取り入れ、教員に役立つ実践的内容とすること。
- ・子ども学科の授業科目「特別活動の研究」について、特別活動の指導法ではない内容まで扱われているため、改善すること。
- ・指導法の科目における模擬授業については、教員役に限らず生徒役や観察役など各学生の役割の設定をした上で、教員が適切に介入しながら指導するなど、より発展的な良い模擬授業を目指してほしい。
- ・上記の他の科目も含めて、教職に関する科目について、免許法施行規則の規定で求められている内容の趣旨を踏まえて検討し直し、シラバスにおいてその内容を明記するようにしてほしい。
- ・15回の授業の中で試験を行っている授業科目があるため、改善すること。

■ 教育実習の取組状況

<状況>

- ・幼稚園は、1年次6月に1週間、2年次10月～11月に3週間の実習を実施。
- ・小学校は、1年次6月に幼稚園で1週間、2年次11月に小学校で3週間の実習を実施。
- ・中学校及び養護教諭については、2年次5月～6月に3週間の実習を実施。
- ・栄養教諭については、2年次9月に40時間の実習を実施。
- ・幼稚園、小学校、中学校の実習校・園は、原則として学生の出身校・園に個別に依頼し承諾を得ている。栄養教諭は佐賀県教育委員会に依頼し、実習校を確保している。

<講評>

- ・幼稚園の教育実習については就職に対する配慮もあると考えられるが、実習校・園との連携の在り方を検討し、大学として主体的に指導を行うよう努めてほしい。
- ・どの程度の力を持った学生を教育実習に出すのか、しっかりとした検討を行ってほしい。

■ 学校現場体験・学校ボランティア活動などの取組状況

<状況>

- ・幼稚園については、幼稚園行事への自主的参加を呼びかけている。また、授業でミュージカルに取り組み、保育現場で公演を行っている。
- ・小学校については、連携する市立小学校の放課後児童クラブや、市内の公民館の通学合宿に学生がボランティアとして参加している。

■ 教職指導及びその指導体制の状況

<状況>

- ・入学時にガイダンスを行い、科目登録時や2年進級時にも履修指導を行っている。
- ・教職指導のための全学的な組織はなく、教務委員、あるいは教職科目の専任教員を中心として指導を行っている。

<講評>

- ・全学での教職指導体制を確立し、組織的・計画的な指導を行ってほしい。
- ・来年度の「教職実践演習」の開始に向けて、履修カルテの具体的な内容と活用法を早急に検討してほしい。

■ 教員養成カリキュラム委員会などの全学的組織の状況

<状況>

- ・教職課程の運営のための全学的な組織はなく、子ども学科では全教員、健康福祉学

科、キャリアデザイン学科では関係の教員が、各自指導を行っている。

<講評>

- ・全学での組織的な教職指導体制を確立し、文部科学省に報告すること。
- ・教員養成の理念、教職課程の科目の内容、教職指導の在り方等を改めて検討するよう求めているが、教員各自が検討するのではなく、全学的な組織を設けた上で、教員同士の議論を深めながら検討を行ってほしい。

■ 施設・設備（図書等を含む。）の状況

<講評>

- ・図書館については、集書計画に経営哲学が現れており、評価できる。
- ・理科室については、学生が理科に取り組む基点となるよう、整備・充実に努めてほしい。